

学校名	イデア IT カレッジ阿蘇
設置者名	学校法人 イデア熊本アジア学園

■「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
商業実務専門課程	IT ビジネス学科	198 時数	160 時数
文化・教養専門課程	国際ビジネス学科	198 時数	160 時数

■学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤①	民間企業経営者	2020. 10. 24. ～2021. 10. 23	経営者としての、経営感覚を学校経営に反映させる。
非常勤②	民間企業経営者	2020. 10. 24. ～2021. 10. 23	経営者としての、経営感覚を学校経営に反映させる。

■理事一覧

役職	氏名	所属・職名	役割
常勤 理事長	井手 修身	イデアパートナーズ株式会社 代表取締役	学校経営者
非常勤理事①	田上 秀尚	株式会社ヒューマンテクノシステムホールディングス 代表取締役社長	企業代表
非常勤理事②	坂元 賢一	リクルーティングパートナーズ株式会社 代表取締役	企業代表
非常勤理事	田中 旬一	学校法人せとうち日本 IT ビジネスカレッジ 理事長	学校経営者
非常勤理事	木ノ内 均	東海大学経営学部 教授	大学関係者
非常勤理事	梶栄 靖之	並木学園 事務局次長、	学校関係者
非常勤理事	井手 一誠	南阿蘇村商工会 理事	地元代表者

■ 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月までに企業の動向、求人ニーズなどを聞き取り、それに対応する形で、翌年度の授業科目を策定する予定である。</li> <li>・2月に教務会議を開催して、教員と情報を共有し、教員はそれに基づき、年度開始までにシラバスを完成する予定である。</li> <li>・授業計画書の作成・公表時期 作成時期は、1月から2月末日まで。公開時期は、4月予定である。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科目ごとの詳細な評価方法は、出席率、課題の提出、テスト等、各科目の授業計画書に示していく。</li> <li>・成績の評価は、A(100点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、D(59点以下)とし、A、B、Cを合格とする。</li> <li>・通年開設科目の学年成績の評価は、原則として前期と後期の両方の成績より行う予定である。</li> </ul>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対評価による毎期末の各学生に与えられた評価を各個人に通知するとともに、一覧表にして下位グループには、通常半年に1回行う面接に加えて、今後の進路について面談を行う予定である。</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一学年で履修すべき過程を修了し、かつ第二学年において履修すべき過程を修了した者のみを、卒業認定会議にて審議し、その結果に基づいて校長がこれを認定する予定である。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	

■教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	I Tビジネス学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間	1,728 単 位時間	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			1,728 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		人	人	人	人	人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養	国際ビジネス学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間	1,728 単 位時間	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			1,728 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		人	人	人	人	人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・12月までに企業の動向、求人ニーズなどを聞き取り、それに対応する形で、翌年度の授業科目を策定する予定である。 ・2月に教務会議を開催して、教員と情報を共有し、教員はそれに基づき、年度開始までにシラバスを完成する予定である。 ・授業計画書の作成・公表時期 作成時期は、1月から2月末日まで。公開時期は、4月予定である。
成績評価の基準・方法
(概要) ・科目ごとの詳細な評価方法は、出席率、課題の提出、テスト等、各科目の授業計画書に示していく。 ・成績の評価は、A (100点～80点)、B (79点～70点)、C (69点～60点)、D (59点以下) とし、A、B、Cを合格とする。 ・通年開設科目の学年成績の評価は、原則として前期と後期の両方の成績より行う予定である。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絶対評価による毎期末の各学生に与えられた評価を各個人に通知するとともに、一覧表にして下位グループには、通常半年に1回行う面接に加えて、今後の進路について面談を行う予定である。</li> </ul> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一学年で履修すべき過程を修了し、かつ第二学年において履修すべき過程を修了した者のみを、卒業認定会議にて審議し、その結果に基づいて校長がこれを認定する予定である。</li> </ul>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学費などの分納制度、学校独自の減免制度を用意する予定である。個別面談を年2回実施している。また個別に相談に応じられるよう職員を配置している。</li> </ul>

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
ITビジネス学科	50,000円	700,000円	80,000円	その他は、委託徴収費でパソコンレンタル費、健康診断、損害保険、教科書代を含む。
国際ビジネス学科	50,000円	700,000円	80,000円	同上
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
学費等納付金の分納制度、学校独自の奨学金(減免)制度を用意しています。				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
<ul style="list-style-type: none"> <li>まず学生を対象とした本校に対する評価をアンケート調査し、次に教職員を対象としたアンケート調査を行う予定である。それをふまえて下記のメンバーにより学校の理念、授業内容、就職へのアプローチ、地域貢献などについて評価を</li> </ul>

いただき、今後の学校運営の方向付けとする予定である。。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実にし、2022年度末までにその結果を公表するために委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2022年度末までにその結果を公表する予定である。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		